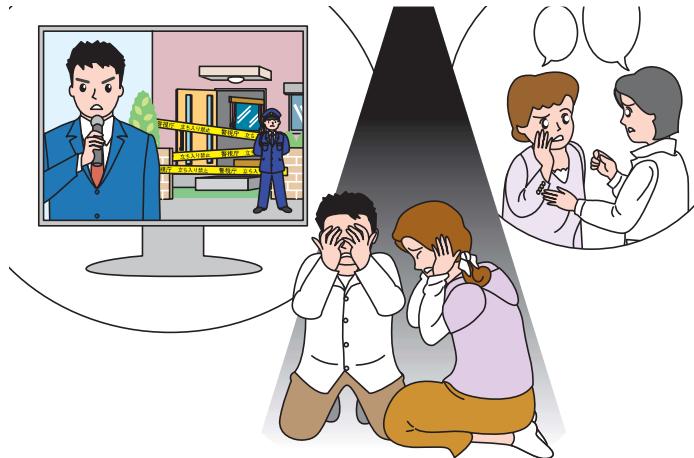


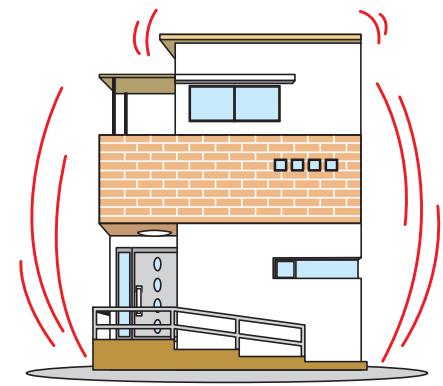
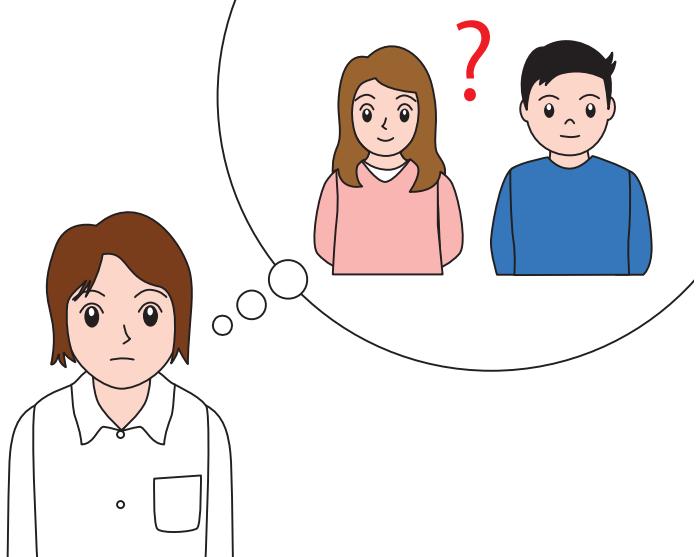
# いろいろな人権

差別することはいけないことです。でも、残念なことに現実の社会には、いろいろな差別があります。



はんざい ま こ きず お  
犯罪に巻き込まれ、傷を負った  
いのち お ひがいしゃ  
り命を落とすことは、被害者や  
かぞく 家族にはとてもつらいことです。  
それなのに、周りの人の流す  
きょうみほんい 興味本位のうわさや、新聞やテレ  
しんぶん ビなどの報道でプライバシーを  
ほうどう 侵害され、さらに傷付くこともあります。

「世の中には女性と男性という2つの性  
しかない」「女人は男の人を、男の人は  
女人を好きになるのが当たり前」と思っ  
ていませんか。身体の性と心の性が一致し  
ない人、同性を好きになる人などさまざま  
です。周囲の理解がないと、本人はだれに  
も言えずに苦しみ、友達や家族との関係が  
うまくいかなくなることもあります。



平成23(2011)年3月11日に発生した  
ひがいしにほんだいしんさい 東日本大震災では、津波が起り、東北地方を  
つなみ お とうほくちほう 中心とした東日本に大きな被害をもたらしました。  
ちゅうしん ひがいしにほん おあ ひがい たまたま じこ いま たまたま ひがい  
また、原子力発電所の事故により、今もなお  
おあ ひと ひなんせいかつ おく 多くの人が避難生活を送っています。この  
ひなんじょせいかつ かくは 避難所生活から、プライバシーを確保することや、  
じょせい こうれいしゃ しょうがい ひと こ 女性、高齢者、障害のある人、そして子どもの  
してんた はいりよ たいせつ わ 視点に立った配慮が大切であることが分かりました。  
げんばつじこ ひなん ひとびと あやま たまたま いや う また、原発事故で避難した人々は、誤った  
じょうほう 情報により嫌がらせも受けました。